



CellSource

成長可能性に関する説明資料

セルソース株式会社

2019年10月



1. 会社概要

2. 事業内容

3. 成長戦略

会社名 セルソース株式会社 (CellSource Co., Ltd.)

所在地 東京都渋谷区渋谷1-19-5

設立年月日 2015年11月30日

資本金 9,000万円

代表者 裙本 理人

決算月 10月

従業員数 56名 (2019年8月31日現在)

事業内容 再生医療関連事業

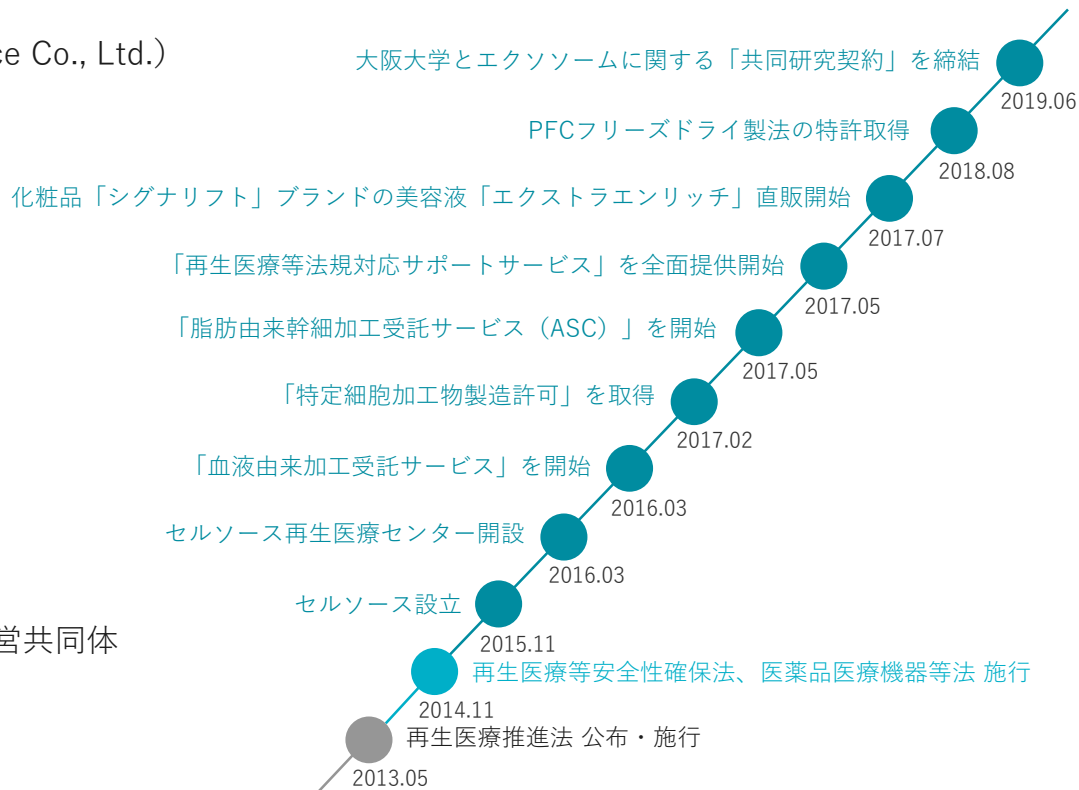
コンシューマー事業

加盟団体等 日本再生医療学会

再生医療産業活性化推進事業運営共同体

日本バイオテック協議会

日本ブロックチェーン協会





代表取締役社長CEO

裾本 理人 Masato Tsumamoto

2005年 神戸大学 発達科学部 卒業
2005年 住友商事株式会社 入社
2011年 ロシア プラスタン 駐在
2015年 セルソース株式会社 設立 代表取締役社長

すべての人生に、再生医療を。

再生医療は、いよいよ
「研究」から、「治療」の段階へ。
人生は、100年時代へ突入します。
生きる時間がふえたとき、問われるのは、健康な時間の長さ。
それは再生医療がカギをにぎる分野です。
セルソースは、厚生労働省の許可を得て
医療機関さま・研究機関さまと連携し、
誰もが利用できる最先端のプラットフォームをつくりました。
これからの再生医療は、可能性のかたまり。
人類に、治療の新時代がはじまります。
夢は現実へ。

新たな法律による「ゲーム・スタート」、新たな産業・事業創設のチャンスとして創業

再生医療推進法施行

2013

研究区分

治療区分

再生医療等安全性確保法

リスクに応じた再生医療等の提供計画の提出を義務づける
従来、医療機関にて行われていた細胞加工の外部委託を可能に

再生医療市場誕生

2014

医薬品・化粧品・医療機器の製造販売

医薬品医療機器等法

従来の「薬事法」を改正し、「再生医療等製品」を新たに定義
再生医療等製品に限り、一定の条件を満たすことで、
厚生労働大臣が早期に製造販売承認を与える事が可能に

セルソース創業

2015

「財務・IR」、「再生医療法規」、「IT」、「内部統制」、「医療経営」、「法務」 各分野のスペシャリストがガバナンスに集結



取締役CFO
経営管理本部長

雨宮 猛

1986年 京都大学 経済学部 卒業
1986年 伊藤忠商事株式会社 入社
1999年 日本オンライン証券株式会社 入社
2008年 カブドットコム証券株式会社 専務執行役 CFO
2017年 セルソース株式会社 取締役CFO
経営管理本部長 (現任)



取締役CCO
再生医療事業本部長

花木 博彦

1991年 岐阜大学 農学部 卒業
1991年 株式会社ニデック 入社
2005年 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 入社
2016年 セルソース株式会社 入社
2017年 セルソース株式会社 取締役CCO
再生医療事業本部長 (現任)



社外取締役

村上 憲郎

1970年 京都大学 工学部 卒業
1970年 日立電子株式会社
(現 株式会社日立国際電気) 入社
2003年 Google日本法人 代表取締役社長
兼 米国本社副社長
2009年 Google日本法人 名誉会長
2017年 セルソース株式会社 社外取締役 (現任)



常勤社外監査役

山下 公央

1974年 神戸大学法学部 卒業
1974年 株式会社三和銀行 (現 三菱UFJ銀行) 入行
2004年 株式会社UFJホールディングス 執行役員
リスク統括部・コンプライアンス統括部担当
2005年 カブドットコム証券株式会社 取締役会長
2010年 雄洋海運株式会社 (現 J X オアシャン株式会社)
常勤社外監査役
2010年 大阪証券金融株式会社 (現 日本証券金融株式会社)
社外監査役
2014年 株式会社名村造船所 社外監査役 (現任)
2017年 株式会社NSD 社外取締役 (現任)
2018年 セルソース株式会社 常勤監査役 (現任)



社外監査役

小山 秀夫

1977年 上智大学大学院文学研究科修士課程修了
1992年 国立医療・病院管理研究所医療経済研究部部長
2002年 国立保健医療科学院経営科学部部長
2004年 川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究所
博士後期課程修了
2007年 静岡県立大学経営情報学部学部長
2007年 静岡県立大学大学院経営情報学研究所研究科長
2010年 兵庫県立大学大学院経営学研究所
医療マネジメントコース主任教授
2018年 兵庫県立大学大学院経営学研究科特命教授・
兵庫県立大学名誉教授 (現任)
2018年 セルソース株式会社 社外監査役 (現任)



社外監査役

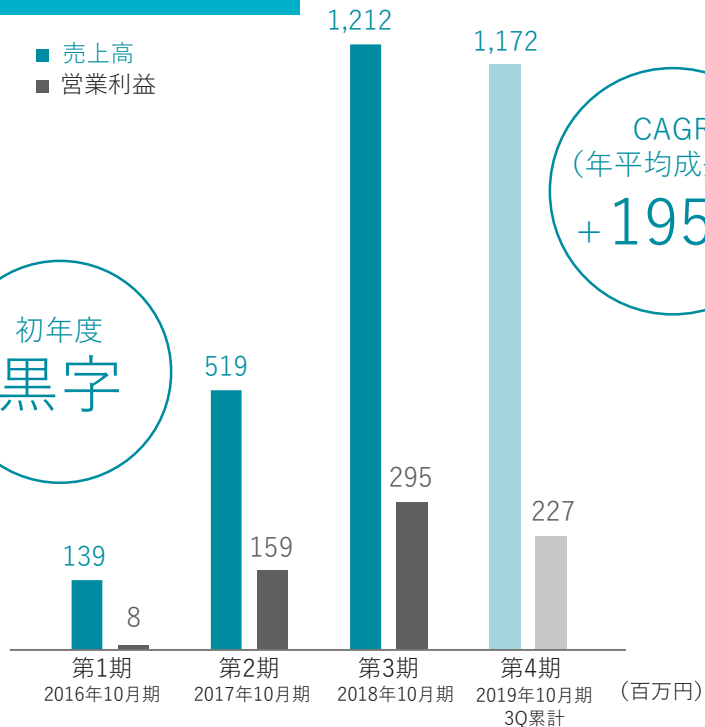
尾崎 恒康

1994年 東京大学法学部第一類 卒業、司法研修所 (48期)
1999年 東京地方検察庁特別捜査部 検事
2003年 法務省大臣官房訟務部門行政訟務課付
2004年 総務省行政管理局企画調整課行政手続室 課長補佐
2008年 西村あさひ法律事務所 パートナー弁護士
2013年 弁護士法人西村あさひ法律事務所 福岡事務所代表
2014年 東ソー株式会社 社外監査役 (現任)
2016年 株式会社高田工業所
ガバナンス委員会委員長 (現任)
2019年 セルソース株式会社 社外監査役 (現任)

創業1期目から黒字を達成。再生医療関連事業とコンシューマー事業の2つの事業を展開

売上高・営業利益

- 売上高
- 営業利益



セグメント別売上高

- コンシューマー事業

436百万円

化粧品の開発・販売・OEM受託



第3期 2018年10月期

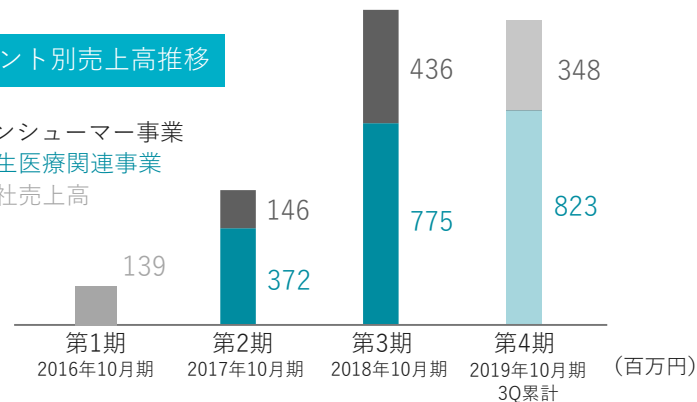
- 再生医療関連事業

775百万円

組織・細胞の加工受託
法規対応サポート
医療機器販売

セグメント別売上高推移

- コンシューマー事業
- 再生医療関連事業
- 当社売上高



様々な大学・行政機関と提携し、事業に取り組む

大阪大学

細胞分泌物を濃縮させた因子による変形性関節症治療法の開発
「エクソソーム」を含む細胞分泌物を用いる変形性関節症への
治療法確立に向けた共同研究を実施。

横浜市立大学

大学附属病院初の脂肪由来培養幹細胞を用いた再生医療による乳房再建
横浜市立大学附属市民総合医療センターにて、乳がん治療等による乳房切除後の再建を
目的とし、当社で培養・加工を受託した脂肪由来幹細胞を用いた再生医療を開始。

大阪府

「（仮称）未来医療推進機構設立準備組織」の構成員に選出
大阪府が目指す、再生医療をベースとした「未来医療国際拠点」全体をオーガナイズする
「（仮称）未来医療推進機構」の準備組織構成員として計画に参画。

沖縄県

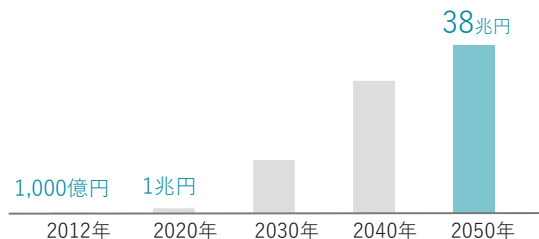
再生医療産業活性化推進事業の受託
琉球大学等とともに、再生医療等製品の開発等を支援する基盤を
沖縄に構築することを目指す沖縄県事業を受託。

周辺産業を含め潜在的に大きな成長市場

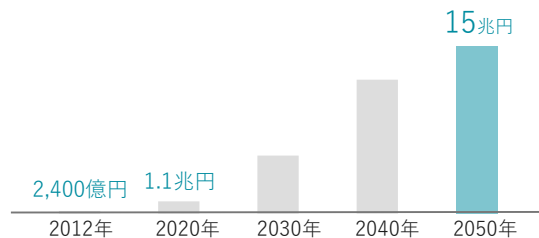
世界



再生医療の将来市場規模予測 (世界)



再生医療周辺産業の将来市場規模予測 (世界)



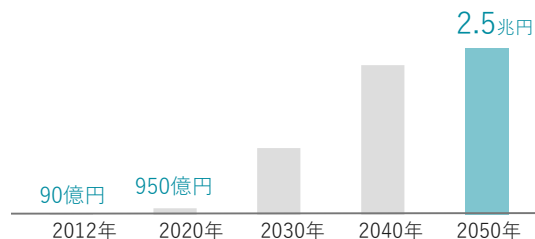
2050年
市場規模予測

53兆円

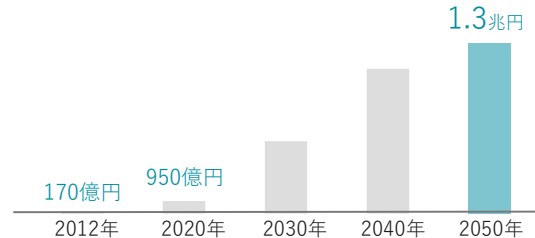
日本



再生医療の将来市場規模予測 (国内)



再生医療周辺産業の将来市場規模予測 (国内)

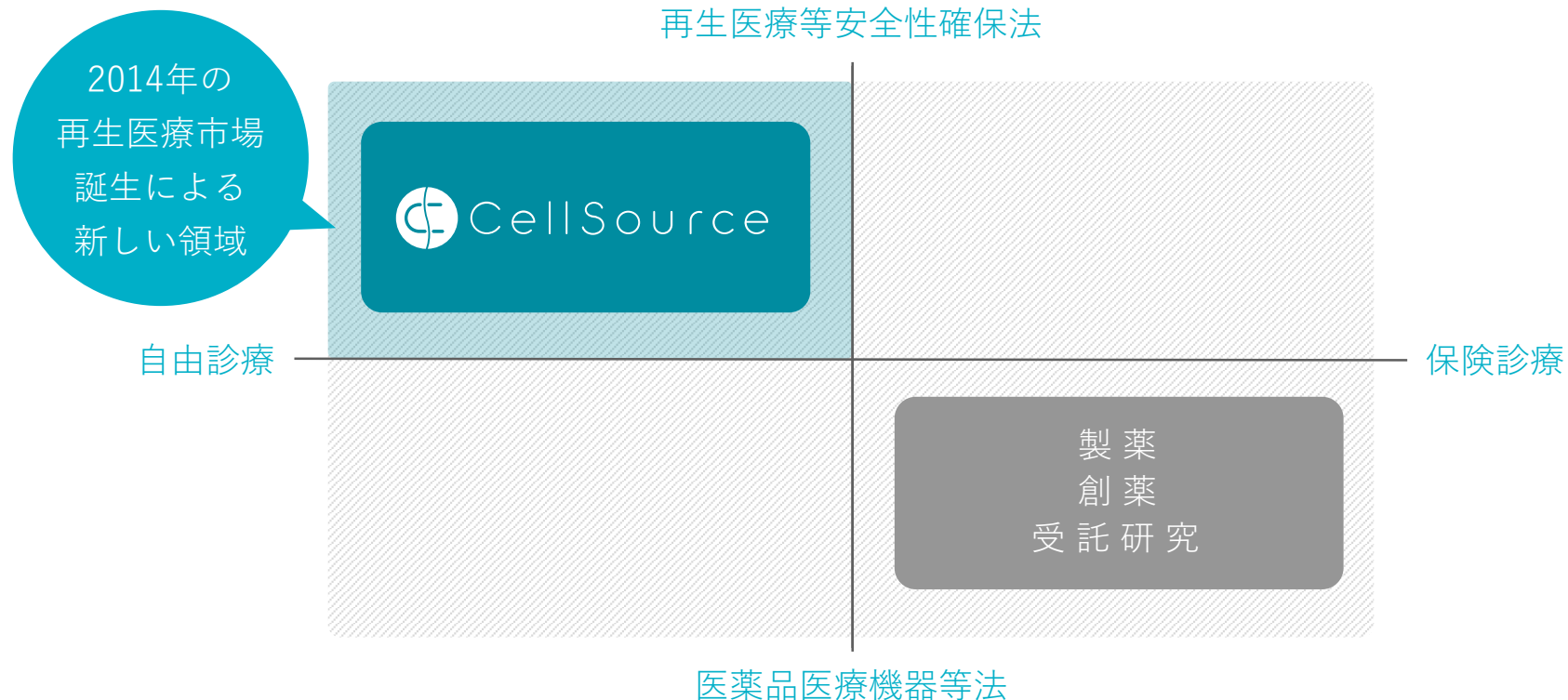


2050年
市場規模予測

3.8兆円

出典：経済産業省 生物化学産業課 2015年8月「法施行を踏まえた再生医療の産業化に向けた取組」

新しく出来た領域で大きく先行。同領域のリーディングカンパニーを目指す



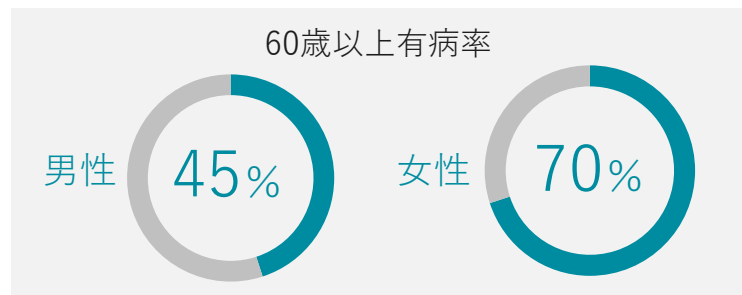
主な対象疾患は『変形性膝関節症』。患者数は増加傾向

変形性膝関節症とは

変形性膝関節症は、膝のクッションの役割を果たす軟骨が、加齢や肥満等の様々な原因により磨り減ることで負担がかかり、膝関節に炎症を起こす病気です。



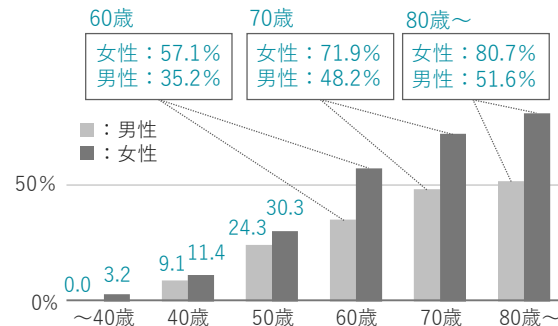
Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009



「Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009」より当社算出

変形性膝関節症の有病率

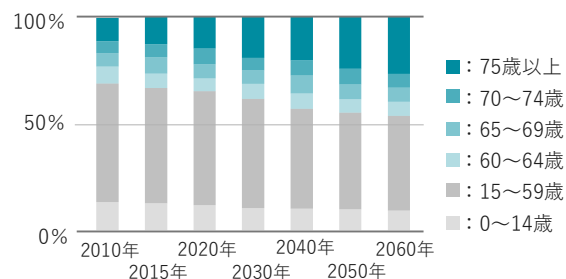
高齢者に多く発症



Yoshimura N, et al., J Bone Miner Metab 27: 620-628, 2009

年齢区分別人口比率推計

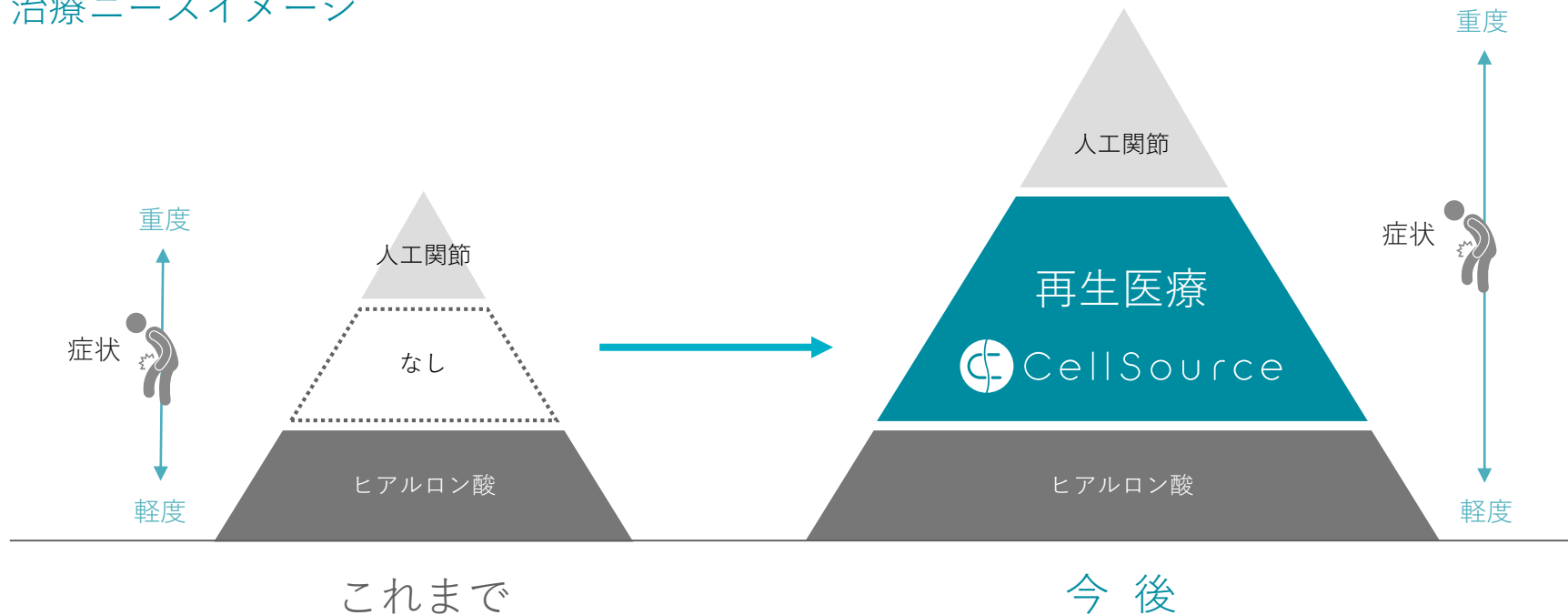
2060年
約50%が
60歳以上



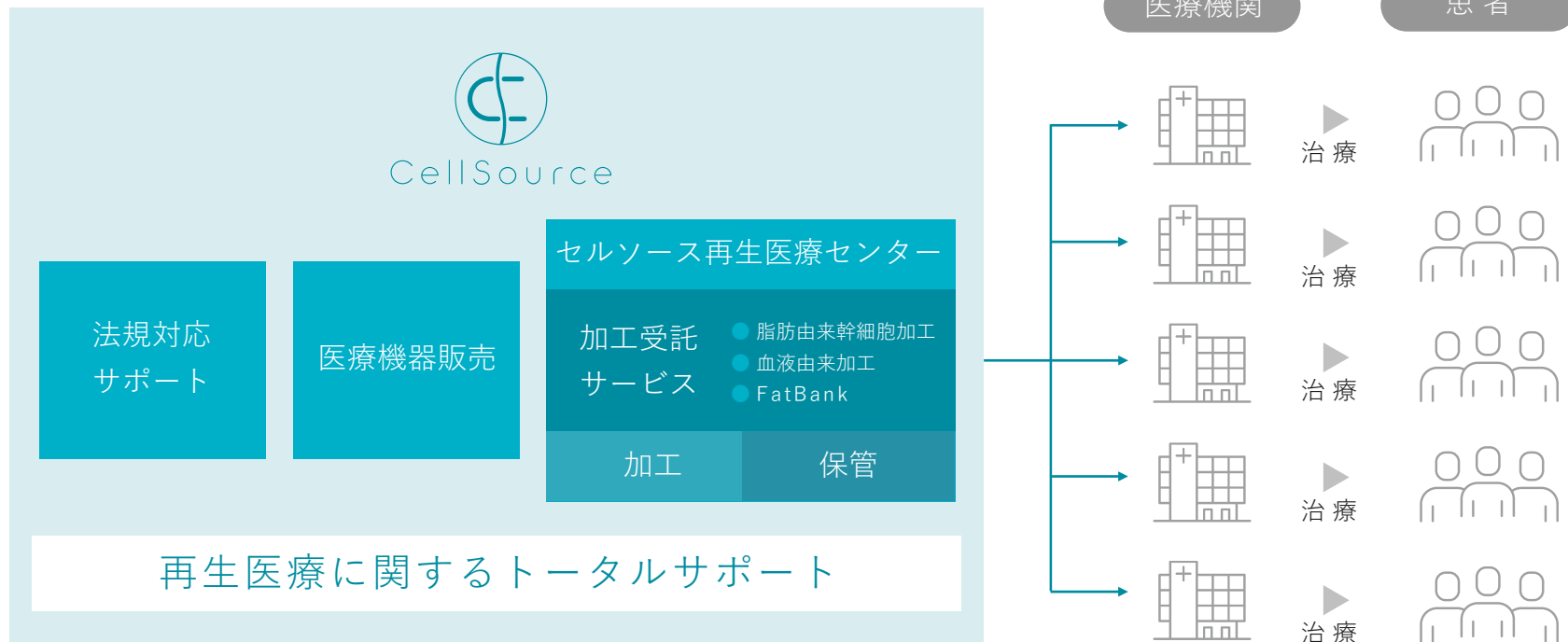
2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

新たな治療として再生医療が選択肢に

治療ニーズイメージ



医療機関が再生医療を実施するための様々なサービスをワンストップで展開



医療機関における初期投資不要、専門人材不要。医療機関は治療に専念



脂肪由来幹細胞加工受託サービス (ASC)

加工に必要な脂肪組織は20mlと少量、
培養後複数回に分けての投与可能

脂肪組織

脂肪由来幹細胞の抽出・培養

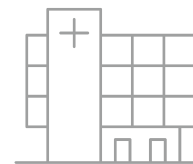
血液由来加工受託サービス (PFC-FD)※

フリーズドライ化により、
医療機関内にて常温かつ長期間での保存が可能

血液

特許取得 血液加工・フリーズドライ
(PFC-FD加工)

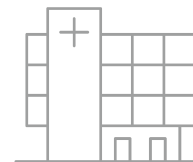
医療機関



患者



▶
治療



▶
治療

(※) 当社の血液由来加工受託サービスは、特許取得済みの当社独自技術により多血小板血漿 (PRP) を「PFC-FD」化し、医療機関内にて常温かつ長期間での保存を可能にしております。

加工受託件数・提携医療機関数は急増。しかし推定有病者数の0.1%にも達していない = 高い潜在性

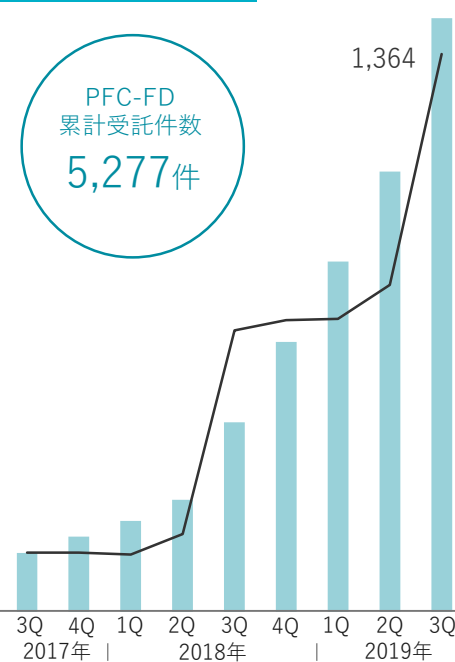
脂肪由来幹細胞加工
受託件数 (ASC)

■ 累計受託件数
— 四半期受託件数



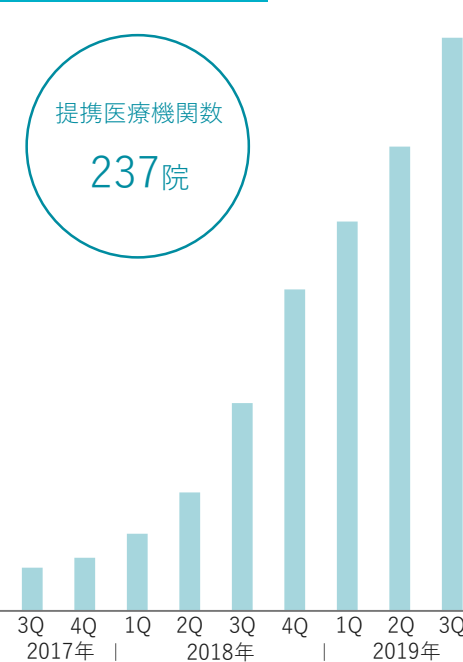
血液由来加工
受託件数 (PFC-FD)

■ 累計受託件数
— 四半期受託件数



提携医療機関数

■ 累計院数



再生医療事業の効率的な運営を実現する加工拠点



1検体毎に培養加工を実施



法定3項目の安全性試験を実施

厚生労働省 関東信越厚生局による
特定細胞加工物製造許可施設（施設番号:FA3160006）

特長

- 1 東京都渋谷区渋谷に位置する都市型CPC
▶ 人財の確保、豊富な物流網
- 2 必要最低限のコンパクト設計
▶ 固定費減、高い稼働率を実現
- 3 全て自社で完結する製造・検査機器を整備
▶ 外注等に伴うコストの圧縮を実現

再生医療における研究結果及び再生医療ブランドを活かした化粧品を販売



Signalift

脂肪由来幹細胞の研究成果から開発された
独自成分「シグナペプチド」を高濃度配合した
「シグナリフト」ブランドを続々とリリースしています。



美容液

エクストラエンリッチ

2017年7月
販売開始



クリーム

エンリッチクリーム

2018年11月
販売開始



洗顔料

ジェリーウォッシュ

2019年4月
販売開始

販売チャネル

EC



web

実店舗

ドラッグストア、
医療機関 etc

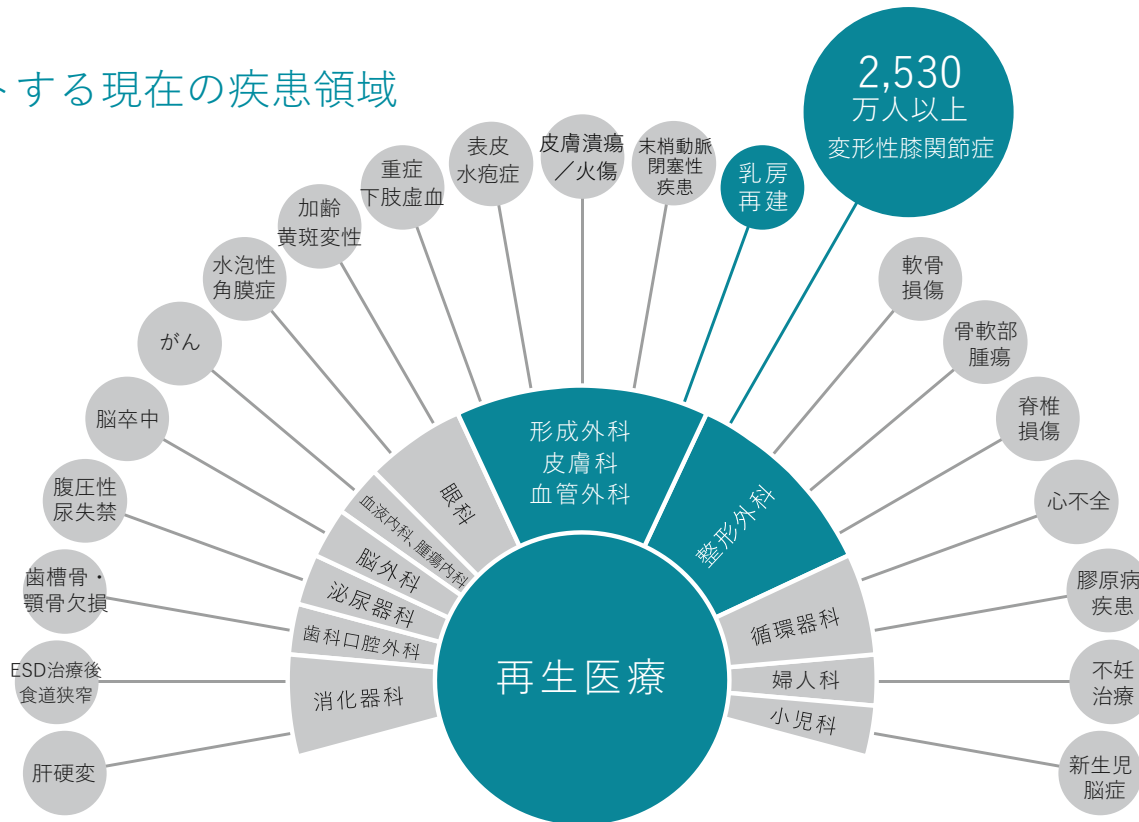




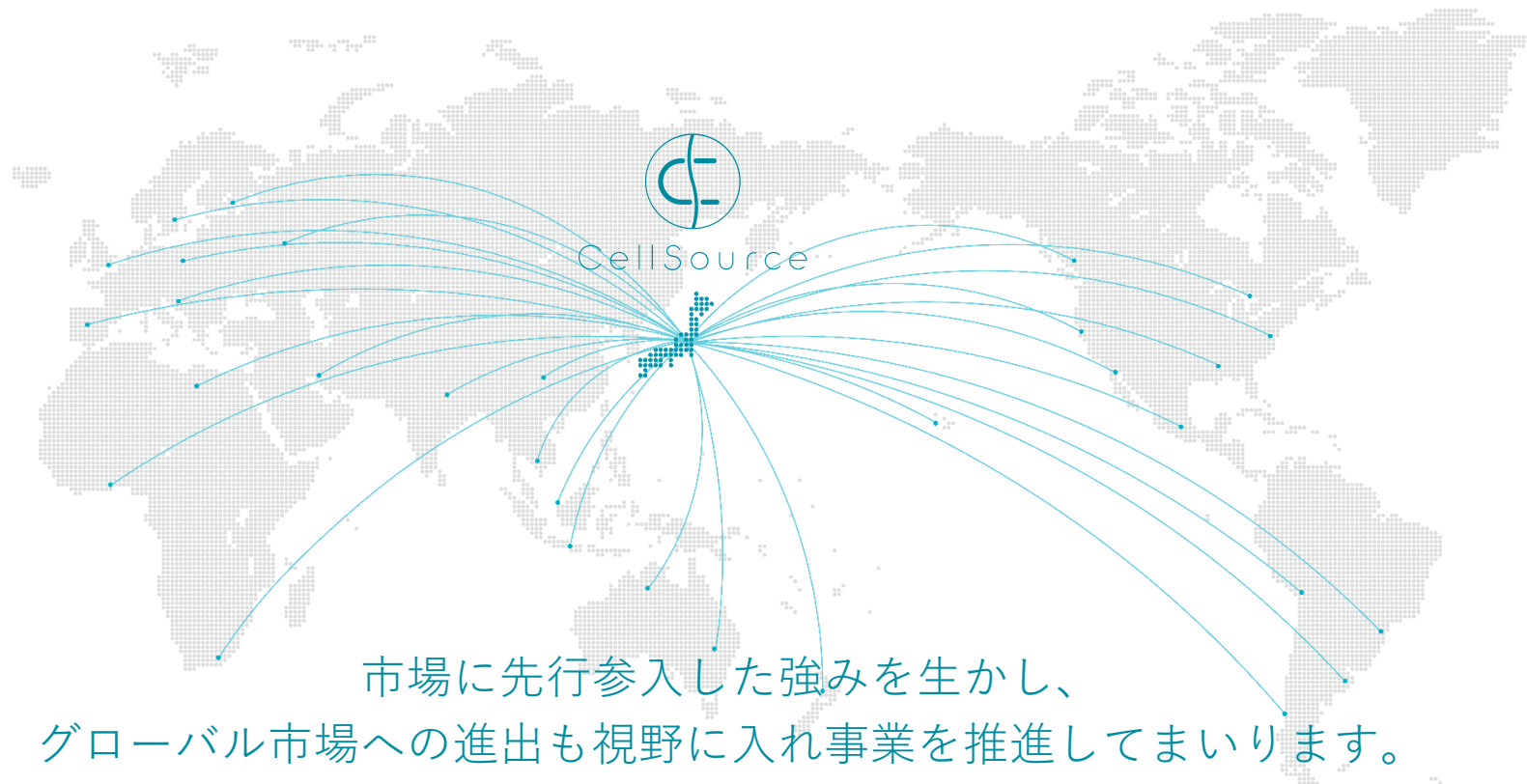
1. 会社概要	2. 事業内容	3. 成長戦略
---------	---------	---------

整形外科領域・形成外科領域に加え、今後、更なる対象領域の拡大が見込まれる

当社がサポートする現在の疾患領域



日本は再生医療関連法基盤の先進国。当社の事業モデルはグローバル展開が可能



本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



CellSource